

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 2月 22日

事業所名 eravuガーデン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	4		人員配置基準を満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	肢体不自由のお子さんは職員が抱えて入室している。	入口に階段があり、玄関に段差がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		毎朝全員が集まり、振り返りを行っている。	全体の流れに関してPDCAのチェックが疎かになることがある。人員配置やプログラムの流れが適切であったか振り返りを行う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者面談についての意見をいただいたので定期的に行えるよ	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		今年開所のため来年度公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		行う予定はない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		毎週一回研修担当の職員が中心となって研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	4		発達検査や視覚検査の結果を踏まえて計画を	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		WISCやk式発達検査の結果、視覚検査の結果を元にアセスメントをしている	攻撃性尺度など使用するアセスメントツールを増やす。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎週一回プログラ担当の職員が中心となって立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		運動、工作、実験、クッキングの項目の中からひとつずつ決めている。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	土曜日には不定期でイベントを開催している。夏休みの課題の自由研究や音楽の宿題などの学習支援も行っている。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	学習、工作等は個別で、そのほかは集団で活動計画を立てている。個別に過ごすお子さんにも対応している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	事業所のリーダー中心に確認している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	次の日の午前中、療育前に共有している	次の日にプログラムの振り返りを行う。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	次の日の午前中、療育前に共有している		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	半年に一度行っている。必要があれば適宜行っている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	常にガイドラインに沿った活動を心掛けている。		
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	直接支援をしているスタッフが会議に出ることは難しい。日頃の活動や発達を聞き取りながら、児発管が主に出ている		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	2	各学校の先生とはお子さんの様子の確認も含めて頻繁に連絡を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	受け入れはない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	就学前の支援会議等に参加しているが、会議がない場合はこちらから問い合わせることはない	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4	支援会議に参加したり、問い合わせがあれば報告している	

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		西児連の研修を受けたり、こども未来センターの専門療育担当の方に助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		特に必要性を感じていないが、公園では近所のお子さんと遊んでいる	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		参加をするか事業所で検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		毎回ラインでお子さんの様子をお伝えしている。相談があればすぐに応じる	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		お子さんの特性に寄り添う話し方や環境設定等については随時お伝えしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時、計画作成時には伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		要望はあるので今後計画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		随時電話やラインで受付けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		ラインワークスやインスタグラム、ホームページで発信している	
	35	個人情報に十分注意している	4		写真等に特に留意している。	個人のスマホで写真撮影をしており、リスクがある。撮影後の写真の削除を徹底する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚支援や個別連絡による配慮を行っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		現段階で行う予定はない。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		マニュアルを作成したが、周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		職員全員研修を受け、知識を身に付けている。	

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	4	支援計画書に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		年に1回保護者から聞き取って個人記録に記入し対応している。クッキングの際には、保護者に個別に聞き取っている。	4
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	事例集は作成していないが、職員間で共有している	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公

公表：令和 7年 2月 22日

保護者等数（児童数）29 回収数 12 割合 41%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				・庭があると思います。 5 ・室内を拝見したことがないので分かりません。	それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10			2		教員資格や保育士資格など専門性を持った職員を配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1			9 見学に行った事がないのでわかりません。	古い建物で部屋と部屋の間には段差がありますが、特に危険はありません。必要があれば個別に対応しています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	12					発達検査や視知覚検査の結果を踏まえて計画を立てています。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	12					毎週違うプログラムを設定しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	5		近くに公園があり、障害のないお子さまと活動する機会があります。
保護者への説	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11		1			入所時にご説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	11	1				毎回ラインでお子さんの様子をお伝えしています。ご相談があればお気軽にご相談ください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2		1		保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	2	5		保護者の方の連携はご希望に応じて検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1			6 トラブルが起きた事がないので分かりません。	随時電話やラインで受け付けています。どの職員でも対応いたしますので、お気軽
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	3				視覚支援や個別連絡による配慮を行っています。

明 等	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1	1		ラインワークスやインスタグラム、ホームページで発信しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	9	1	2	一度よその子のうつつた写真が送られてきた	このたびは他のお子さまが写った写真をお送りしてしまい、大変申し訳ございませんでした。個人情報の取り扱いに関して重大なミスであり、深く反省しております。今後は写真の確認体制を強化
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10			2	マニュアルは策定し、職員には周知していますが、保護者様への周知が不十分だと感じています。今後HPへの掲載を検討します。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			4	避難訓練した日は、子供からこんなことに注意するんだよとの話が出ます。それくらいちゃんと子供達に浸透する避難訓練をしていただいています。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11			1	・いつも送迎もしていただき、ありがとうございます。朝起きた瞬間からいつも今日はエラブ！と楽しみにしています！ ・学校行きたくない日でも、デイは行きたい。デイに行きたいから学校頑張るなど、居場所でもあり、励みにもなっております。
	18	事業所の支援に満足しているか	11	1			事業所の支援にご満足していただけるよう引き続き努めてまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の見

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	eravuガーデン		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 3日 ~		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 26日 ~		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等
1	保護者からの評価が高く、安心して子どもを預けてもらえる環境を提供できている。LINEなどを活用したこまめな報告が好評。	お子さんが通っている学校でのご本人の様子や先生方の関わり、家庭での関わりやデイでの療育を保護者さんに伝えている。
2	教員資格を持つ職員が多く、学習支援に満足していただいている。発達障害に関する専門性を持ち、お子さんの特性に合わせた支援方法を提案できている。	研修や事例検討を行い、障害や子育てに関する知識を深める。複数の職員がチームで問題に関わり解決策を検討している。
3	運動・学習・遊びなど、多様なプログラムを用意し、子どもの興味や成長に合わせた活動ができる。季節ごとのイベントや特別活動を通じて、楽しみながら成長できる機会を提供している。	子どもたちが様々な経験を積めるよう、毎週異なるプログラムを用意している。また、プログラム参加時にはアセスメントを行い、個々の特性に合わせた内容を提供している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等
1	情報管理に不備がある。誤って他のお子さんの写真を保護者に送ってしまった。	報告の際、活動の様子を伝えるため、お子さんの写真を送っている。他のお子さんが映り込んだ際にはモザイクを入れているが、入れずに送ってしまった。
2	下校時間や送迎場所についてのトラブルがある。	保護者や学校との連絡をより密に取れていない。

3	防災・緊急時対応の周知が不足している。	保護者に対する説明の機会が少なく、マニュアルの配布や掲示も不十分。避難訓練の実施状況を保護者に報告していないため、取り組み自体が伝わっていない。
---	---------------------	--

--

--

2024年 12月 13日

12

2025年 1月 15日

4

--

さらに充実を図るための取組等

ご家庭の様子や保護者の方の要望を先生方とも共有し、ご家庭、学校等、デイで協力体制を構築していきたい。日々の関わりだけでなく、進路を視野に入れた取り組みを重視している。

保護者の方から希望された面談だけでなく、定期的な面談をおこない、発達状況の確認、ご本人の困りごとの把握、進路等について共有する機会を設ける。

保護者や学校と連携し、日常生活や学習の課題を反映したプログラムを導入する。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

確認体制を整備できるまでは、写真の送付を中止する。

保護者や学校との連絡をより密に取れるようにする。

非常時対応マニュアルを保護者向けに分かりやすくまとめ、配布・掲示する。避難訓練の実施報告をLINEやお便りで定期的に共有する。